こども環境学会 学会賞(活動奨励賞)受賞について

1.発　表

①総　評

講評にもあるようにユニークで地域密着型の新しい取り組みから奨励賞とした。

②講　評

別府温泉がある地域の特性が生かされた活動で地域学習の面においても、「色」という新しい視点での取組みは評価できます。自分が育ち、毎日を暮らしている地域の特性を、「色彩」という視点から、気づき⇒共感し⇒自分ごとにとらえていく実践です。「色」という視点から、誰もが入りやすい取組みで、顔料づくりや染色などの実体験を通じながら、身近な自然や郷土文化と出会う興味深い取組みです。

小学校３年生に限定することなく地域の子どもたちに広げて継続して実践し、子どもの主体的学びに発展させていただくことを期待して奨励賞となりました。

2.授賞式の様子

①講　評(神谷 明宏選考委員長)

②授　与(五十嵐 隆こども環境学会 会長→照山 龍治 代表)

③記念撮影（右側から、五十嵐会長、学習院大学 秋田教授、研究会事務局 塩月、研究会 照山代表
左側から 仙田代表理事、受賞者２名）

④記念講演(照山代表)
研究会、教材作成、実践(鶴見小学校、明星幼稚園)
について報告。今後も活動を続けていく。

⑤委員長との意見交換(左側から、秋田教授、
神谷委員長、照山代表)